

『住友電工テクニカルレビュー』創刊200号を迎えて ～引き継がれる技術創造のDNA～



『住友電工テクニカルレビュー』は、当社の技術研究誌として1933年（昭和8年）10月に創刊され、2022年1月の発行を持ちまして200号を迎えることができました。これもひとえに、皆様方のご支援とご愛顧の賜物と深く感謝しております。

本誌は、当社の研究開発の成果を発表する場として、また、その技術的真価を国内外に問い、技術水準の向上を図ることを目的として、『住友電線彙報』の誌名で創刊されました。以降、戦時中を除き、途絶えることなく当社の新製品、新技術を世に伝え、評価をいただいております。現在は、発表の場をウェブサイト上に移し、『住友電工テクニカルレビュー』として当社グループの技術開発活動の成果を伝え続けております。200号の発刊を迎えるにあたり、創刊以来の長い歴史は、技術開発に心血を注いだ先人たちの、絶え間ない努力と挑戦の積み重ねであったのだろうと改めて思いを巡らせ、深い感慨を覚える次第であります。

当社グループは、電線・ケーブルの製造事業を端緒に、技術創造こそが将来にわたる企業発展の鍵を握るとの経営方針のもと、先を見据えた新規性の高い技術の開発に尽くしてまいりました。その結果、今日では、モビリティ、エネルギー、コミュニケーションを基軸とした、自動車、情報通信、エレクトロニクス、環境エネルギー、産業素材の5つの分野に事業領域を広げ、グループの総合力を活かした包括的なソリューションの提供を通して、さまざまな社会課題の解決に貢献しております。今後も本誌発刊の志を胸に、技術創造により新たな歴史を切り拓くべく、研究開発活動を着実に進めてゆく所存でございます。引き続き、皆様のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

社長 井上 治